

# 一般質問の概要

平成 27 年第 2 回 二宮町議会定例会

**1 日目** 6 月 10 日（水）午前 9 時 30 分～（露木、善波、前田、二見、二宮 各議員）

No	質問予定議員	質問概要
1	露木佳代議員	<p>平成 27 年度二宮町教育委員会基本方針重点施策の「生きる力」の育成について問う （放映件名：教育委員会基本方針重点施策の生きる力とは）</p> <p>平成 27 年度二宮町教育委員会基本方針では【「生きる力」の育成】が 5 つの重点施策のうちの 1 つになっている。これまでは当たり前前に養われてきたと思われる「生きる力」が、ここ数年、教育分野でも、あえてこの言葉が謳われるようになってきた。普通に生活していたのでは、生きる力が弱くなっている、もしくは蓄えられない現実があるということが考えられる。</p> <p>そこで小・中学校での以下の取り組みについて問う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 二宮町教育委員会基本方針で謳われている「生きる力」とは、どのような力と考えているのか</li><li>2. 「生きる力」の項目の中に、郷土愛の育成とあるが、どのような取り組みがあるか。</li><li>3. 二宮の自然を学習する時間では、どのようなことをしているのか。</li><li>4. 二宮の海について学習する時間があるか。また海の事故を防止するための注意喚起をどのようにしているか。</li><li>5. 校内の防災訓練についてと、学校以外の場所で災害が発生した場合を想定した学習はあるか。</li></ol>
2	善波宣雄議員	<p>町有未利用地の有効利活用について問う （放映件名：町有未利用地の有効利活用について問う）</p> <p>二宮町には取得してから有効に活用されていない未利用地がいくつかありますが、これは町にとって大変不利益な事だと考えております。</p> <p>二宮町の収益は人口減少、少子高齢化による勤労世代の減少等で減収になり町の財政が厳しくなっている、この問題を解決するための一つの足掛かりとして民間活用などによる早急な町有未利用地の有効利活用が必要だと考えており以下の要旨に沿って質問をしていきたいと思っておりますので考えをお聞かせください。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 東大果樹園跡地は現在一部活用しているが恒久的な利活用についてはどうか説明を求める</li><li>2. 小児病院跡地（仮称：子供のひろば）を取得した経緯と今後の有効利活用について説明を求める</li></ol>
3	前田憲一郎議員	<p>二宮町民の体力向上と健康寿命の延伸について町の見解を問う （放映件名：町民の体力向上と健康寿命延伸について問う）</p> <p>二宮町民の体力向上・健康寿命の延伸を図る計画として、二宮町健康増進計画・食育推進計画の計画書がだされ、平成 27 年度から 36 年度まで 10 か年をかけて実施していくとなっているが、二宮町の高齢化率は湘南地域、神奈川県が 2 割前後で推移しているにもかかわらず 3 割前後と高い数値で推移している。神奈川県の平均寿命は、男性 80.36 歳で全国 5 位、女性 86.74 歳で全国 15 位、日常生活に支障のない期間である健康寿命は、男性 70.90 歳で全国 12 位、女性 74.36 歳で全国 14 位となっている。この中で二宮町の平均寿命は、男性 80.6 歳、女性</p>

		<p>86.3歳となっている。平成27年度の特別会計予算を見ると、後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・国民健康保険特別会計が年々増加しており、特に国民健康保険特別会計は大幅に増加している。また、神奈川県が発表した平成25年度の小学校5年生、中学校2年生の新体力テストの結果は、県の平均は全国順位で見ると小学校5年生の女子は最下位、中学校2年生の女子は46位という結果になっている。二宮町の平均を見ると身長・体重の体格は国や県と比較して各学年男女とも若干上回っているが、体力テストの結果は、学年男女によって多少の違いはあるものの県の平均以下の種目が半数、またはそれ以上になっている。この結果からいえることは町の将来を担う児童生徒の体力は全国的に見て最下位に近い位置にあり、このような現状から見て早急に0歳から高齢者までの体力向上・健康寿命のさらなる延伸を図る具体策が必要であると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 0歳から高齢者まで各年代の町民の体力向上・健康づくり、健康寿命の延伸について、その施策を具体的にどのように実施していくおつもりか伺います。</li> <li>2. 新体力テストの結果をふまえて、学校教育における児童生徒の体力向上策について施策がおありか伺います。</li> <li>3. 総合型地域スポーツクラブについてどのような見解をおもちか伺います。</li> </ol>
4	二見 泰弘 議員	<p><b>空き家・廃屋等の適正管理について問う</b> (放映件名：空き家・廃屋等の適正管理について問う)</p> <p>近年全国的に空き家が増加しており、空き家の発生により、防災、防犯、景観、衛生等多岐にわたり問題が発生しております。総務省「住宅・土地統計調査」のデータによれば、その件数が全国的にも増加傾向にあり、平成25年は実に820万戸に増加しており、自治体において積極的な対応が近年求められており、そのための条例制定や検討がされてきております。二宮町においても近年空き家が増加し対応の苦慮している現状であり、これからの梅雨の時期や台風シーズンを迎えて、空き家の倒壊、損傷により、隣近所の迷惑になったり、道路沿いに空き家がある場合は、通勤、通学時の安全が懸念されます。また不審者が住み着くなど、治安悪化や衛生上のことや、樹木の手入れができず伸び放題によって交通の妨げになっているなど、今後増加することが予測されます。</p> <p>本年2月に一部施行され5月26日に「空き家対策特別措置法」いわゆる空き家法の全面施行がされました。そこで順次通告順に質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①空き家、廃屋等の現状について</li> <li>②苦情や相談に対する対応状況について</li> <li>③危険廃屋等除去補助の設置について</li> <li>④課題解決のための空き家条例制定の必要について</li> <li>⑤空き家対策特別措置法について</li> <li>⑥空き家バンクについて</li> </ol>
5	二宮 節子 議員	<p><b>子どもたちの読書意欲を高めるための町の取り組みは？</b> (放映件名：子どもたちの読書意欲向上ための取組は？)</p> <p>近年、活字離れが指摘される中、より多くの人に図書館に来てもらおうと、工夫を凝らした図書館が増えてきています。二宮町の図書館を、老若男女誰でも自由に気軽に利用できるような工夫をすることが必要であると考えます。</p> <p>そこで、町民の読書意識を高めるための方策について町の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校における読書活動の取り組みについて。</li> <li>(2) ファミリー読書の日の設定</li> <li>(3) 図書館利用の効果が大きい「読書通帳」導入について。</li> </ol>

6	渡辺 訓任 議員	<p><b>二宮町の防災対策の進捗状況を問う</b> (放映件名：町防災対策の進捗状況)</p> <p>2012年(平成24年)に「二宮町地域防災計画」が策定され、3年目の今年はその一つの節目の年と考える。この間、体制づくりやハード面での充実が図られてきた。今年も防災関連事業が予算化され進行している。議会においても、様々な視点から体制強化に向けての論議がなされてきた。防災計画とその後検討された対策の進捗状況と今後の施策について、災害時の実効性を担保する立場から問う。</p> <p>1：最近火災発生が相次ぎました。住宅用火災警報器の設置が義務づけられ、町条例にも定められているが、火災警報器の設置状況と普及推進のとりくみはいかがか。</p> <p>2：先般の小笠原諸島付近での地震発生時、報道される震度と実態がずれていたとの指摘があるが、この点についての認識はいかがか。</p> <p>3：初期の安否確認について、黄色い旗の活用などのルールへの定着は進んだか。また、地区内の要援護者についての情報共有や避難のルールについてのガイドラインが自主防災組織内で共有されたか。</p> <p>4：自主防災組織への経験・人材の蓄積はすすんだか。指導員複数体制の進捗はどうか。図上演習での避難所での計画が学校・地区役員の交代時に継承されているか。</p> <p>5：中学生の防災意識の向上と訓練への参加は進んできたか。</p> <p>6：防災倉庫の備品について、維持・管理・補充が十分になされているか。</p> <p>7：飲料水・生活水および食品類の自宅での確保は十分といえるか。</p> <p>8：葛川の洪水、近隣家屋への浸水の心配はぬぐえない。大雨の際の避難の必要性がある地域と、避難指示のタイミング・伝達方法はどのようになっているか。</p> <p><b>二宮町での社会保障・税番号制度の導入について</b> (マイナンバーの導入について)</p> <p>社会保障・税番号(いわゆるマイナンバー)制度の計画が進んでいる。この制度は、住民登録をしている住民全員に12ケタ、また、法人には13ケタの番号を割り当て、住基ネットの基本情報に年金・税の個人情報を紐づけ、管理するものである。今年10月には番号の通知がなされ、来年1月から個人番号カードの交付が始まる。税や社会保障の公平性や手続きの利便性をうたう一方で、すでに預金口座についても利用する法案が閣議で決定しており、その用途の拡大が懸念される。制度は、個人情報流出やなりすましについてのリスクを伴うものでもある。町に求められる整備内容と問題点について問う。</p> <p>1：町として、この制度についてどのように考えているか。個人情報の流出やなりすましのリスクについてどのように評価しているか。</p> <p>2：国からの法定受託事務について、町での事務量の増加に対する措置はされるのか。</p> <p>3：もともとは、税と社会保障を対象の分野を対象にするとしているが、共通番号もしくは個人番号カードの町内の分野への利用拡大の意図・計画は無いのか。</p>
---	-------------	--

7	野地洋正 議員	<p><b>平成 27 年度予算審査意見項目への取り組みについて (放映件名：予算審査項目の取り組みについて)</b></p> <p>第 1 回定例会において、村田新町長による平成 27 年度一般会計および 4 特別会計予算案が提出され、予算審査特別委員会にて 5 日間、担当課ごとに各事業の詳細について丁寧かつ詳細に審議されたのち、委員会および本会議において原案通り可決、粛々と執行されているものと思われます。しかしながら、特別委員会からは 155 におよぶ要望が出され、中でも特に重要とされる 8 項目においては、今後の施策、事業策定にあたり、さらに検討が必要であるとされ、議会から審査意見として町へ提出されています。いずれにおいても中長期にわたる整備が必要とされる大変重要な事項ではありますが、同時に今年度執行事業でもあります。町民がより早く、そしてより満足できる事業となるよう以下要旨に沿って質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、議会から提出された予算審査意見をどのように捉え、どう取り組み、また、どう取り組もうとしているのか町の考えについて</li> <li>2、審査意見⑧：学童保育における支援員の充実、および安定した運営方策について</li> <li>3、審査意見⑤：町民活動推進補助金事業の必要性、また交付基準、公平性について</li> </ol>
8	小笠原陶子 議員	<p><b>二宮町の高齢者福祉、介護について (放映件名：二宮町の高齢者福祉、介護について)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 27 年度は、地域ケアシステム構築のために少しずつ動き始めていると思うがその進捗状況を確認する。</li> <li>2. 総合的地域支援事業は、市町村ごとに大きな差が出るといわれている。町は 3 月総括質疑で、今までと変わらないサービスを提供するといわれているが、大丈夫なのか。詳しく説明を求めます。</li> <li>3. 今後介護保険の制度が変わることによって、小規模な介護事業者の経営が苦しくなる。大事な社会資源だが、なんらかの支援を検討していくことはあるか。</li> <li>4. 今年度の新たな取り組みである介護人材確保支援事業の公募経過と、二宮町の事業者の介護職員の補充状況はどうか。</li> <li>5. 町と二宮町社会福祉協議会との連携はどのように進んでいるか。</li> </ol>

9	一石洋子 議員	<p><b>総合教育会議について</b> <b>(放映件名：総合教育会議を教育改革に繋げるために)</b></p> <p>総合教育会議は大津市の事件を受け、教育の様々な課題に迅速に取り組むために改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の施行により、地域の民意を代表する首長と教育委員会が連携強化し、迅速な危機管理体制の構築をはかり、町の教育目標について協議するものとされる。無縁社会と言われて久しいが、子供たちが真に人に出会う事なく成長している社会状況こそ、様々な事件の根本原因であり大人たちはこれに真剣に向き合う事が肝要である。この総合教育会議を機に課題を町民と広く共有することで、二宮町の人と人の間を深め、耕す気運を起こすべきではないか。</p> <p>①教育の問題は、私達大人が子供たちの前に立ってどう変わったら良いかを考える事ととらえるべきではないか。</p> <p>②町民の議論への参加があって初めてコンセンサスが得られる。総合教育会議が地域創成に繋がる二宮町の教育改革となるために広く町民と論点を共有できる、フォーラムのような形は検討しないのか。</p> <p>③教育長は所信表明で「大人達が現在の事ばかりではなく、未来に繋がるアイデアを出し合い、力を合わせ、未来に向けて行動すれば必ずや子供達は大人のバトンを受け継ぎ、未来を生き抜いて、切り開いてくれると確信する」と述べられ、町民との協働と団体との連携を進める必要性を教育の最重要課題であると言われた。具体的な取り組みを問う。</p> <p>④町長は総合教育会議で人権教育を掲げられた。町長の人権についての考えを聞きたい。また今までの人権教育の取り組みと今後の課題を問う。</p> <p>⑤子供たちに課題解決能力を期待するのであれば、私達大人にこそ社会の課題解決のための学びの視点が欲しい。行政と対等なパートナーシップを持つ協働の在り方、また市民事業を啓発する学びの場、また未知の高齢化社会に向けて老齡学の研究など新しい課題解決の方法について町民への投げ掛けも必要ではないか。少子高齢化の先進自治体としての個性ある生涯学習のあり方を問う。</p> <p>⑥警察との連携協定について 子供が成長の過程において無償で尽くしてくれる人、真剣に寄り添う人に出会う事が、大変重要である。川崎市の事件を受けての川崎市教育委員会の報告書によると「何よりも本人、保護者と直接会って話を聞き、心理状況を汲み取る働きかけを最優先に対応すべきであった」とあるが、今後協定締結に向けて動く書かれている。 二宮町教育委員会の警察との連携についての考えを問う。</p>
---	------------	--

備考：10日（水）の2番目～5番目、11日（木）の7番目～9番目の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。